

21年度自己評価結果公表シート

作成 大阪商業大学附属幼稚園

1、本園の教育目標

建学の理念『世に役立つ人物の養成』にむけて人間形成の土台作りを行います。

- ① 豊かな心を培い基本的生活習慣を身につける
- ② 小学校につながる力を育てる
- ③ 柔軟な思考力と豊かな感性を育てる
- ④ 楽しい生き方

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って自己点検・自己評価を実施することによって、教職員自らが客観的に自園を見る目を養い、施設改善・教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の編成実施に関して、教職員間の共通理解をはかる	建学の理念と幼稚園教育要領の接点を求め、全教職員で再確認し、教育課程のねらいを立て、それに基づき学年毎に内容を検討することができた。
建学の理念、教育要領、教育課程、子どもの実態等を基に指導計画を作成する	建学の理念と幼稚園教育要領の接点を基に各項目に対する指導計画を学年で作成し、学期毎に加筆、訂正を行っている。
教育の質の向上のために園内研修を充実させる	PDCAサイクルを念頭におき、学期2回の教職員全体会議に加え、各行事の打合せ及び反省会や、日々職員室での上司・先輩・後輩の意見に耳を傾け、お互いの考えを出し合い議論する機会がもてた。研修会などの積極的参加がもっと必要である。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応をはかる	保護者との懇談や参観、学年親睦会などで定期的 に実施。 保護者の思いや考えを受け止め出された意見に対して、必要なものに対しては園の考え方を示し、改善すべきものは改善するように取り組んできた。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

全教職員が学校評価の主旨を理解し、各自適切に自己点検、自己評価に取り組み必要性を強く感じた。今後も客観的な目で自らの教育・保育を振り返り、資質向上に努めたい。

施設面では環境整備や室内・園庭の自然など、環境構築に力を入れており、子どもがその環境に自らかかわり、探索しながら育っていくことを、今後も継続していく必要性を感じた。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
安全管理	不審者情報が幼稚園協会や警察から随時提供されるようになってきたが、それに対する園での対応が十分でない ので施設面での対応と教員の意識づけ並びに危機管理 マニュアルの見直しを行いたい。
特別支援教育	特別な配慮を要する子どもの困っている状況の把握と個 別の指導計画の作成を検討する。 年度初めより柔軟な対応が取れるよう準備する必要がある と共にキンダーカウンセラーの配置を検討する。
園に対する保護者の満足度の把握	建学の理念に基づいた教育に十分配慮しつつ、子育て 中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会に おいて求められる幼稚園の姿を確認することで、本園の ビジョンを策定する基礎としたい。

6、学校関係者の評価

22年度より実施する方向に検討中である。

7、財務状況

学校法人谷岡学園として、大阪府私学大学課及び公認会計士監査により、適正に運営されている
と認められている。